

2010年 11月号 Mini-WAN

～三河港湾事務所より～



Mini-WANとは

港や海に関連する新鮮な話題を中心に、地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。

☆CONTENTS☆

■最近のトピックス

- 第5回伊勢湾再生海域検討会三河湾部会を開催
- 全国閉鎖性海域環境保全連絡会のメンバーが三河港を視察しました
- 芳川渡し場まつり ○第29回半田市民マラソン ○第30回とよはしみなとシティマラソン
- みなとふれあい体験イベント「株式会社新来島豊橋造船見学会」○三河湾環境改善試験工事
- 港湾業務艇「しおさい」定期点検
- COP10パートナーシップ事業 2010西の浜クリーンアップ活動



■編集後記

☆最近のトピックス☆

○第5回伊勢湾再生海域検討会三河湾部会を開催

10月27日、第5回伊勢湾再生海域検討会三河湾部会（事務局：三河港湾事務所）を開催しました。三河湾部会においては、伊勢湾再生海域推進プログラム（平成20年3月）に位置づけられた「多様な生物がいきづくうみの保全」に向け、三河湾において大きな懸念材料である「貧酸素水塊」の抑制に効果が見込める方策等について検討を進めるものです。



部会の様子

部会長である中田教授（東海大学海洋学部）の議事進行のもと、事務局から提案した「数値シミュレーションによるシーブルー事業の評価」及び「深掘跡修復に関する施工及びモニタリング」に対して活発な意見・議論が交わされました。

シーブルー事業の効果としては、三河湾内における貧酸素水塊の体積・面積の低減、底生生物現存量の増加傾向等を定量的に評価し、委員の方から概ね了解を頂いたところです。また、深掘跡修復の施工及びモニタリング方法についても了解を頂き、今後、予定している深掘跡※修復の施工及びその効果等に対するモニタリングをしっかりと実施していきます。なお、次回の開催は平成23年1月頃を予定しています。

※深掘跡とは、大規模な工業用地等の埋立てのために海底土砂を採取した跡のことです。

「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)

※一部の地域を除きます。



国土交通省中部地方整備局

三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL(0532)32-3251 FAX(0532)32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL(0569)21-2311 FAX(0569)21-2312

WEB <http://www.mikawa.pa.cbr.mit.go.jp>

E-mail info-mikawa@pa.cbr.mit.go.jp

○全国閉鎖性海域環境保全連絡会のメンバーが三河湾を視察しました

10月21日、三河港湾事務所は、全国閉鎖性海域環境保全連絡会のメンバーを当事務所港湾業務艇「しおさい」により船上から三河湾を案内しました。これは、当連絡会の総会が前日の10月20日に豊橋市内にて行われ、現地視察の一環として、三河湾の環境についての現状を理解・認識していただく目的で、当連絡会メンバーの三河湾浄化推進協議会（事務局：豊橋市環境保全課）からの依頼を受けて行ったものです。

船内において、三河湾における環境改善の取り組み等を当事務所職員が説明しました。

視察者は熱心に説明に耳を傾け、各々のメンバーが抱える閉鎖性海域の現状と三河湾の現状とを比較し、今後の環境改善に向けた方策について何が効果的なのか等を模索していた様子でした。

また、当日は小雨が降る中の視察となり、視界が悪い状態でしたが、船上からスナメリを確認することができ、三河湾の生態系の豊かさを感じ取ってもらえた日となりました。



船内の様子

○芳川渡し場まつり



吉浜小学校の児童による演奏

10月24日、高浜市芳川町の老人ホーム高浜市安立（あんりゅう）荘にて「第18回芳川渡し場まつり」が渡し場かもめ会主催で開催されました。

開会挨拶の中で、渡し場かもめ会中川会長が「みなとまちづくりマイスター」に認定されたこと、衣浦港が重点港湾（仮称）へ選定されたことの紹介もあり、港湾事業への感心の深さがうかがえました。

吉浜小学校生徒による金管バンド演奏に始まり、「海の標語」の表彰、和太鼓、大正琴演奏等次々と地元の方々による催し物が繰り出されました。屋台においても常に行列が絶えないほど人が並び、大盛会となりました。

クライマックスでは、「嫁入り舟」※が行われ、教師である花嫁さんの生徒さんをはじめ多くの人が祝福の声を送る中で、ご結婚された二人はとても幸せそうでした。「嫁入り舟」の船頭を花婿の友人が務めたということも花を添えることになりました。

皆さんとても楽しまれていましたので、今年参加できなかった方は来年是非参加してみたいかがでしょうか？

※かつて衣浦湾を挟んで高浜市と対岸の東浦町を結ぶ渡し舟、通称「藤江の渡し」が生活物流や人の往來の重要な交通機関として役割を果たしていました。「嫁入り舟」は昔、花嫁さんがこの渡し舟で尾張から三河へ、また三河から尾張へ正装で嫁入りしたものを再現したものです。



嫁入り舟

○第29回半田市民マラソン



スタート前の様子

11月7日、第29回半田市民マラソン大会（主催：半田市・半田市教育委員会・半田市体育協会）が半田運動公園陸上競技場にて行われました。大会当日は薄曇り、2.2km（ジョギング部門）から10km（一般競技部門）まで幅広い部門に、老若男女3,800人を超えるランナーが、思い思いに快走していました。

これから来年3月にかけて各地で市民マラソン大会の開催が予定されています。大会によっては、三河湾のすばらしい景観が望めるコースが設定されている大会もあります。皆さんも体力増進・健康維持のために参加してみたいかどうか。（詳しくは各市町村教育委員会等にお問い合わせ願います）

○第30回とよはしみなとシティマラソン

11月14日、第30回とよはしみなとシティマラソン（主催：豊橋市・豊橋市教育委員会スポーツ課内 豊橋みなとシティマラソン実行委員会）が豊橋総合スポーツ公園にて行われました。昨年に引き続き2,000名を超えるエントリー者数で、子どもから大人までそれぞれが、2kmから10kmの各部門で、六条潟大橋から海をながめられるコースにさわやかに汗を流して参加しました。

地元のFMラジオパーソナリティーのゲスト参加で、応援も大変盛り上がり参加者も応援に来られた方も楽しめた大会になりました。



スタート地点の様子

○みなとふれあい体験イベント「株式会社新来島豊橋造船見学会」



船を間近から見学する参加者

10月23日、三河港の明海地区にある株式会社新来島豊橋造船の見学会を行いました。

この見学会は、多くの市民に港への関心と親しみを深めてもらうことを目的として、豊橋市が今年度より実施している「みなとふれあい体験事業」のひとつです。

株式会社新来島豊橋造船では、約1,200人の社員が働いており、パナマ運河を航行できる最大の船型の6,400台積自動車運搬船を建造しています。

めったに見ることのできない造船所の見学ということで、公募には定員（40名）の6倍も

の応募が殺到し、当日は、抽選で選ばれた子どもから大人までの市民36人が参加し、東京ドーム11個分という広大な工場内をバスで車窓見学しながら建造過程の説明をうけたあと、バスから降りて建造ドックや艀装船を見学しました。

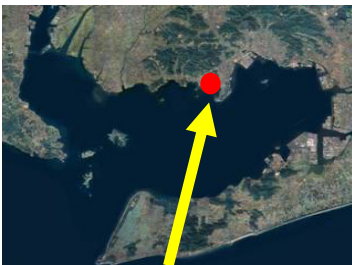
参加者は、間近で見る自動車船や高さ80mの大型クレーンの迫力に驚いたり、新来島豊橋造船社員の丁寧な説明を熱心に聞いていました。

豊橋市では、これからも港に関するイベントを企画し、市民の港への理解を深めていきたいと思えます。



熱心に説明を聞く参加者

○三河湾環境改善試験工事



工事位置

現在、蒲郡市西浦町にある龍田海岸の沖合約300mの位置で石を投入し、均す工事を行っています。本工事は現在の干潟の形状を波浪による変形から守り安定させるために、実験的に干潟の前面へ石を投入するものです。延長は90m、天端高は約3.6m（工事基準面を零位、TP：約2.4m）です。

施工方法は、丁張りという石を積み高さの目安になる定規のようなものを設置し、それを目標に石を投入し均します。また、1個の石の重さは1.3t～2.0tあり、その石をクレーンで

持ち上げ、人の手で向きを変えて均していきます。

1.3t以上の大きな石を人力で均す作業は重労働で危険な作業であるため、安全第一で施工しています。

施工後はモニタリング調査を実施し、石の投入による干潟及びその周辺の環境変化を確認します。



捨石均し状況

○港湾業務艇「しおさい」定期点検

10月25日より当事務所の港湾業務艇「しおさい」の定期点検を行っています。

「しおさい」は造船所の上架施設で陸上に上げられ、普段は見るのでできない船底部や推進器を見ることができます。

船舶は、船体、機関等の構造が、航行する海域における天候、波浪等に十分耐え得るものであること及び万一海難に遭遇した場合にも、

人命の安全確保ができるように救命・消防設備等必要な設備が備えられていることが要求されており、これらの要件を満たすため定期的な点検と修理を行っています。

写真にあるとおり、船底や推進器及びその周辺に貝殻が多く付着していることが分かります。貝殻が付着していると、それが抵抗となり航行時の速度低下やエンジンへの負荷増大により、燃費が悪くなるだけでなく各種機関の故障の原因となります。

定期点検では故障となる原因等を除去し安全に航行できるよう、船体や各種機関の修理点検を行います。



しおさい上架状況



貝殻付着状況(推進器)

○COP10パートナーシップ事業 2010 西の浜クリーンアップ活動

10月31日、渥美半島の先端に位置する田原市の西の浜海岸にて環境ボランティアサークル「亀の子隊」により「COP10パートナーシップ事業 2010 西の浜クリーンアップ活動」が開催されました。

小雨の中での活動となりましたが、多くの方が参加し、テレビ愛知エコキャンペーンキャラクターであるメリ夫さんとエコちゃんも応援に駆けつけてくれました。

前日までの台風の影響もあってかたくさんのごみが浜に打ち寄せられていました。冷蔵庫、海上標識、テレビといった大きなごみも見つかりました。1時間程度の清掃活動でしたが、約1,200kgものごみを回収することができました。

清掃活動後にクイズ大会も催され、みんな大きな声で手を挙げて参加していました。

西の浜では毎月1回清掃活動が実施されていますが、それでもごみがなくなることはありません。また、浜に打ち寄せられるごみの大半は我々の住んでいる生活圏から発生したものです。

こういった活動の積み重ねのおかげで浜がごみだらけにならないことを知ってもらいたいとともに、自分の出したゴミは自分でちかえるように心がけたいものです。



参加されたみなさんでの記念撮影

☆編集後記☆

今年は、残暑が長引く一方山間部では平年より早く初雪が見られたところもあり、秋が短いように感じます。まだこの地方では紅葉は始まっていませんが、一気に寒波が押し寄せる気がしますので体調管理をこころがけましょう。

衣浦港のある知多半島は漁業が盛んで、今年の短い秋に関係しているのかもしれませんが、例年になくイワシとガザミが豊漁です。また魚ばかりでなく、みかん狩りもできます。中部地方のみかんといえば、蒲郡や三ヶ日が有名ですが、南知多にもいくつかみかん農園があり、酸っぱいのが特徴です。

行楽の秋、野山に出かける機会も多いと思いますが安全に注意して秋を満喫しましょう。

三河港湾事務所ホームページはこちら <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>

